rücksichtigung der Endospormbildung. Zeit. Bot. 12: 481-516. Pandey, A.K., R.P. Singh & S. Chopra 1986. Development and structure of seed and fruit in Compositae: tribe Helenieae (sensu Bentham). J. Indian Bot. Soc. 65: 416-421. Venkateswarlu, J. & H. Maheswari Devi 1955. Embryological studies in Compositae: II. Helenieae. Proc. Nat. Inst. Sci. India 21: 149-161.

* * * *

キク科センジュギク属のシオザキソウの胚学的研究を報告する。胚嚢形成は *Polygonum* type, 胚乳形成は Nuclear type, 胚形成は Asterad type の *Senecio* variation である。いずれもキク科の胚形成初期に見られる一般的な様式である。

○高等植物分布資料 (131) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (131)

○シロバナミミカキグサ *Utricularia uliginosa* Vahl form. *albida* (Makino) Komiya 関東（千葉県成東町），中部（新潟県村松町，八ヶ岳），九州（宮崎県川南町）からの古い採集標本を見ることができるが，東北以北での分布は知られていなかった。ところが，1986年9月6日外山雅寛氏が北海道苫小牧市柏原東湿原において発見（NDC-3577, 3578），そして1988年9月18日筆者が福島県西白河郡西郷村段戸原にて採集(NDC-4039）したことで，シロバナミミカキグサが東北・北海道にまで分布することが明らかとなった。

シロバナミミカキグサの母種ムラサキミミカキグサは，本州では青森県に至るまでの全域各所に点在しており，北海道でも釧路湿原（鶴居村），石狩平野（浦臼町，月形町，新篠津村，江別市），勇払原野（苫小牧市），静狩湿原（長万部町）に現存することが最近再確認された。とくに，勇払の柏原東湿原と弁天沼及び静狩湿原では本州の自生地に見られぬ程の大群生を観察することができる。本州の自生地では6月から12月にかけて開花するのに対して，北海道では8月から10月初めにかけてと開花期は遅くて短かい。従って，花茎の高さは 1.5-6 (-8) cm と低く，花数も 1-2（稀に3）花と少い（本州産では 5-18 cm 高で2～7花)。元来ミミカキグサ類は熱帯乃至亜熱帯に分布する小形の多年生植物であるが，北海道では1年生植物として生活しているようである。

〔注〕 NDC: 日本歯科大学生物学教室標本庫。

（日本歯科大学 生物学教室 小宮定志 Sadashi KOMIYA)